

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は練習会場使用日程・留意事項に従い実施する。
- (2) 投てき競技の練習については、係員の指示に従って安全に留意して行う。

3 競技器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。但し、棒高跳用ポール及び競技場に備え付けのないやりについては、検査の上借り上げて使用を認める。
やりの借り上げは、競技開始1時間30分前までに、TIC（競技場正面玄関前）に申し出る。
また、ポールの検査は競技開始前に競技場所にて行う。
- (2) フィールド競技及び4×100mRで使用するマーカーは主催者が用意したものを使用する。
マーカーは現地で競技役員が配付する。

4 招集について

- (1) 競技者招集所は、200mスタート（第3ゲート）外側に設ける。（競技場配置図参考）
- (2) 招集開始時刻及び完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし次のとおりとする。

区 分	種 目	ラウンド	招集開始	招集完了
トラック 競 技	100m,200m,400m,800m,1500m, 5000m,10000m, 100mH,110mH,400mH, 3000m 障害物,5000m 競歩, 4x100mR, 4x400mR	予 選 準決勝 決 勝	30分前	15分前
跳躍競技	走高跳,走幅跳,三段跳	決 勝	60分前	50分前
	棒高跳	決 勝	100分前	90分前
投てき 競 技	砲丸投,円盤投,ハンマー投,やり投	決 勝	60分前	50分前
混成競技	十種競技	両日の第1種目	30分前	15分前
	七種競技	第1日目、第1種目	30分前	15分前
		第2日目、第1種目	45分前	30分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理をする。
- (4) 競技者は、上記（2）に示した招集開始時刻に招集所で最終確認を受ける。その際ナンバーカード、競技用靴、衣類、持ち物等の点検を受け、そのまま待機し招集完了時刻に係員の指示により移動する。
- (5) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は招集開始時刻までに「2種目出場届」を招集所に提出する。
- (6) 出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに「棄権届」を招集所に提出する。
- (7) 混成競技の招集は、2日間とも第1種目のみ招集所で行う。2種目目からは混成競技者控室で招集を行う。

5 競技場への入退場

(1) トラック競技出場者の入退場

- ①招集所から競技役員の誘導により競技場に入場する。
- ②競技終了後、第1ゲート(100mフィニッシュ地点前方)から退場する。衣服等については、係員が運搬する。
- ③決勝において1位から3位の入賞者は、競技役員が表彰控所に誘導する。

(2) フィールド競技者の入退場

- ①招集所から競技役員の誘導により競技場に入場する。
- ②競技終了後、競技役員の誘導によって各ゲートから退場する。
- ③1位から3位の入賞者は、競技役員が表彰控所に誘導する。

6 ナンバーカード

- (1) ナンバーカードは、配布された大きさのまま、胸・背に確実につける。但し跳躍競技は1枚を胸または背につけるだけでよい。トラック種目は腰ナンバーカードを左右両腰の後方につける。(配布は招集所で行う)
- (2) 長距離及び競歩競技では、招集所で配付する特別ナンバーカードを使用し、胸・背に確実につける。

7 トラック競技の組・走路順・制限時間

- (1) トラック競技予選の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに記載する。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝の組、走路順は番組編成員が抽選し招集所に掲示する。
- (3) 次のラウンドの出場者を決めるトラック競技において、同記録者がありレーン数が不足するときは写真判定を細部(1/1000秒)まで読み取り優劣を判定する。それでも判定できない場合は同タイムの競技者または代理人によって抽選を行う。ただし、1500m、3000m障害物については細部までの判定を行うことなく次のラウンドに進出できる。
- (4) 競技運営上、次の種目には制限時間を設ける。設定した時間を超えて次の周回には入れないものとする。

男子10000m 35分 女子10000m 43分

男子5000m競歩 27分 女子5000m競歩 32分

8 フィールド競技の試技順及び走幅跳・三段跳の競技方法

- (1) フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに記載する。
- (2) 男子・女子走幅跳及び男子三段跳びの試技はA・Bの2ピットで行う。
- (3) 三段跳びの踏切板の位置は男子13m、女子10mとする。

9 リレーオーダー用紙提出について

リレー競技に出場するチームは、オーダー用紙1部を予選・準決勝・決勝の第1組の招集時刻の1時間前までに招集所に提出する。

10 バーの上げ方

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりである。ただし、気象条件等によっては審判長がバーの上げ方を変更することがある。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
走高跳	男子	1m80 2m00	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	以降 3cm	
	女子	1m50 1m60	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	以降 3cm	
棒高跳	男子	4m50 5m00	4m60	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m30	5m35
										以降 5cm
棒高跳	女子	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00
										以降 5cm

- (2) 第1位決定戦（ジャンプオフ）の試技のバーの上げ下げの幅は、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。
- (3) 混成競技のバーの上げ方は次のとおりである。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
走高跳	男子	1m45 1m80	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81
										以降 3cm
棒高跳	女子	1m25 1m50	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	以降 3cm	
	男子	2m60 3m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80
									以降 5cm	

11 表彰

- (1) 各種目とも1位から3位の入賞者に賞状とメダルを、4位から8位の入賞者に賞状を授与する。
- (2) 各種目1位から3位の入賞者（リレー含む）は競技終了後、直ちに表彰を行うので競技役員の誘導のもと、表彰者控所に移動し待機する。
- (3) 4位から8位の入賞者は、正式発表後30分後以降TICで賞状を配付する。

12 抗議について

日本陸上競技連盟競技規則第146条による。

13 その他

- (1) 競技会で発生した事故等については、主催者側で応急処置をするが以後の責任は負わない。
- (2) 横断幕・のぼり旗等は、メインスタンド・バックスタンド共に上段手すりのみとする。スタンドにおけるテントは使用禁止とする。
- (3) 更衣室では更衣のみを行う。貴重品等の管理は各自で行い、盗難等に十分注意する。
- (4) ゴミは原則として各自で責任をもって持ち帰る。分別処理をして所定の場所に捨ててもよい。
- (5) プログラムの参加選手の資格記録は、各県予選会での記録、又はシーズンベスト記録を記載している。
- (6) 記録証明書を希望する者は、TICで申込用紙に必要事項を記入の上、発行手数料600円（郵送料を含む）を添えて申し込む。
- (7) 棒高跳用ポールの返送は各自で責任を持って行う。

(8) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、番組編成及びプログラム作成、記録発表、公式ウェブサイトその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

(9) T I C（総合案内所：正面玄関前）の業務及び提出書類は次のとおりとする。

	配付書類及び業務	提出または受付場所	提出または受付時間
1	棄権届用紙	招集所	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届用紙	招集所	第1種目の開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	招集完了1時開始前まで
4	棒高跳支柱移動届	招集所	招集開始時刻
5	プログラム訂正届用紙	T I C	随時
6	用器具検査申請書	T I C	競技開始1時間30分前まで
7	記録証明証申請書	T I C	随時
8	棒高跳ポール返送	T I C	競技者各自で行う
9	遺失物保管	T I C	随時
10	4位～8位の賞状配付	T I C	記録発表30分後から